

## 第13回「大学体育スポーツ研究フォーラム」開催要項(第三報)

【期日】 2025年 2月28日(金) 10:00～17:50

【会場】 オンライン開催(Zoomでの開催)

### 【プログラム】

10:00～10:10	開会式
10:10～10:45	大学体育優秀論文賞受賞講演 鈴木 久雄 先生(岡山大学)
10:45～12:30	関東支部主催企画 「近未来的な体育教育の実践を考える(小中高と大学での実践事例)」 話題提供者 鈴木 直樹 先生(東京学芸大学) 村瀬 浩二 先生(和歌山大学)
13:30～17:41	一般発表13演題(研究報告7演題・事例報告6演題)
17:41～17:50	閉会式

### 【各種締め切り】

参加・発表受付開始	2024年12月1日(日)～
申込先URL	<a href="https://forms.gle/opaY3YoitEKwrwn97">https://forms.gle/opaY3YoitEKwrwn97</a>
発表申し込み	2025年1月31日(金)まで
参加費納入期限(筆頭発表者)	2025年2月7日(金)まで
発表抄録提出	2025年2月14日(金)まで
参加申し込み	2024年2月25日(火)まで
※発表しない「非会員」の参加費納入につきましては、2月26日(水)までといたします。	

### 【参加費】

<b>発表あり(筆頭発表者のみ)</b>	
機関会員・個人会員・大学院生	1千円 (機関会員かつ個人会員は参加費無料)
非会員	3千円
<b>発表なし</b>	
機関会員・個人会員・大学院生	無料
非会員	3千円

2020.2開催の第8回フォーラムより、一般発表者のうち参加費納入義務は筆頭発表者のみとなりました。よって、フォーラムに参加されない第二発表者以降の方の参加費納入は不要です。

### 【振込先】

常陽銀行0130 研究学園都市支店104 普3976640 公益社団法人全国大学体育連合研究部

### 【参加方法】

発表・参加申し込みをされた方にZoomのURLおよびプログラム・抄録集を送信いたします(2月26日(水)配信予定)。

### 【発表について】

- ・ 発表はZoomとプレゼンテーションソフト(PowerPoint等)を使用した口頭発表(15分)と質疑応答(5分)で構成されます。発表時間は演題数によって短縮される場合があります。
- ・ 発表において使用する言語は日本語に限定させていただきます。
- ・ 優れた内容の発表は当該年度に45歳になる方までを対象として大学体育スポーツ研究フォーラム『優秀発表賞』として表彰いたします。

### 【発表抄録の提出について】

2023.3開催の第11回フォーラムより、発表抄録は大学体育スポーツ学研究の「フォーラム報告」に掲載される様式(700文字以内)を兼ねています。様式ファイルを使用して期限厳守での提出をお願いいたします。

### 【第13回大学体育スポーツ研究フォーラム実行委員】

- 委員長:江口 潤(産業能率大学)
- 委員:伊藤 信之(横浜国立大学)
- 委員:中島 弘毅(松本大学)
- 委員:竹市 勝(国士舘大学)
- 委員:山田 盛朗(東京都市大学)

### 【大学体育スポーツ研究フォーラム運営委員】

- 委員長:田原 亮二(西南学院大学)
- 副委員長:中山 正剛(スポーツ庁)
- 幹事:木内 敦詞(筑波大学)
- 委員:藤野 和樹(千葉商科大学)
- 委員:梶田 和宏(京都先端科学大学)

### 【発表抄録提出・お問い合わせ先】

13th.forum.2025@gmail.com (担当:田原・中山)

以上

## 一般発表演題一覧

【日程】2月28日（水）13：30～17：41

【内容】13 演題（研究報告7 演題，事例報告6 演題）

【時間】発表12分，質疑応答5分，計17分間

※以下は発表順ではありません。

<研究報告> 7 演題

研究報告	一般大学生とアスリート大学生における月経随伴症状の相違
○渡辺久美	桜美林大学
研究報告	ブレンド型授業を用いた大学体育の実践： クラシックバレエを対象に
○朴京眞	聖心女子大学
研究報告	初年次体育へのアドベンチャー教育の導入と大学適応
○山内宏志	国際基督教大学
研究報告	大学体育実技における非認知的能力を含む学びの順序
○難波秀行	大阪大学
研究報告	社会的投資収益率(SROI)を用いた観戦型スポーツイベントの社会的価値評価： 大学が主催するホームゲームイベントを事例として
○松尾博一	筑波大学
研究報告	大学新入生のコロナ禍前後の活動実態比較
○藤田恵理	帝京大学
研究報告	大学体育は学生のストレスリカバリーにどのように貢献するか
○阪田俊輔	横浜商科大学

<事例報告> 6 演題

事例報告	同ステップの質感の違いによる表現方法獲得のためのヒント
○川上美里	十文字学園女子大学
事例報告	体験の「意味」を深めることをめざした教養科目「生涯スポーツ演習」(フットサル)の授業: 受講生による学びの振り返りを材料として
○岸本栄嗣	京都芸術大学
事例報告	Well-beingの観点から大学体育の在り様を考える
○吉原さちえ	東海大学
事例報告	スポーツをくみる)ことの協働的生成経験の意義と可能性: 視覚障害者と晴眼者学生によるバスケットボール観戦の事例
○植田俊	東海大学
事例報告	大学体育ワークブックに関する新展開
○西脇雅人	大阪工業大学
事例報告	体育授業の種目選択希望が不本意な学生7割以上に対するダンス授業展開例: やる気の変化の可能性とその要因
○飯田路佳	十文字学園女子大学